



JA花咲ふくい 水田農業経営協議会 開催!

12月21日(月)JA花咲ふくい水田農業経営協議会がJA花咲ふくい本店にて開催され、担い手農家他、関係者等大勢が集まりました。

研修会では3つのテーマに沿った講演があり、中央会農業支援室木下補佐より「労災保険の新たなサポート体制づくり」について、福井農林水産支援センター齋藤理事長より「生産コストの低減対策と農地政策」について、最後に全中農業対策部杉野課長より「TPP 大筋合意のゆくえと今後の水田農業対策」について説明がありました。

齋藤理事長より農地中間管理事業活用メリットとして、農地の集約化により作業効率がアップすること、作業条件を改善する基盤整備が実現可能となること、デメリットとして土地持ち非農家が今後増えていくことや、土地所有者が田んぼに無関心となり地域のコミュニティの欠如が進んでいくこと等が述べられました。米の消費衰退や価格低下について触れ、今後水稻栽培で生きていくためには、栽培面積を増やした大規模化を進めていく必要性を強調していました。

また杉野課長からは、平成30年以降行政による生産目標数量の配分が行われなくなる中、米の需要・価格の安定を図るためには各産地で売れ残り(持越在庫)が発生しないよう、需要に応じた生産を進めることが基本となってくること等説明がありました。

各講演後には活発な質疑応答が交わされ、有意義な研修会となりました。



初荷出発式

1月15日大安の日に、JA福井市西部農業施設センター、及びJAはるえ総合営農指導拠点事業所にて、初荷が行われました。

雨が降る中、「初荷」と書かれた旗を掲げたトラクターや田植え機等が並ぶ会場では、JA・メーカー・経済連が一体となり推進に取り組むことの決意表明や、安心と安全を祈願したガンバロウ三唱等が行われました。

【JA 福井市】

農家の農舎に入庫しています。



【JA はるえ】

納品前の農機の安全祈願をしています。



行ってきました！ TACパワーアップ全国大会 JA小松市が見事会長賞

11月26～27日、TACの全国大会「TACパワーアップ大会2015」が、横浜市で関係者500名が出席して盛大に開催されました。本県からもTAC、TAC管理者等9名が出席しました。

当日は、担い手に対しての課題解決や優れた取り組みをおこなった6JAと9個人が表彰されました。

全農会長賞を受賞したJA小松市について紹介します。JA小松市では、農家から要望が高い生産振興や経営相談についての提案が喫緊の課題となったため、27年度より本店直轄都とし、営農部に5名のTACを配置。TACの目標として水田フル活用や園芸生産振興、米出荷呼び戻し、生産資材予約獲得、農業融資獲得件数等をポイント化し、より専門的な活動をしているとのことでした。



「農業法人や若手農業者との関係構築に向けた地域生産振興支援」では、ある集落営農組織では、高齢者や女性の労働力が余剰化しており麦跡の農地も十分活用されていなかったため、石川県特産の「源助大根」の栽培を提案、大規模な露地野菜の複合経営を支援。商品化率向上に向け施肥体系指導を行い、商品化率の向上（H24 65%→H26 90%）がはかれたことで作業意欲が増すとともに雇用確保等地域振興に貢献していることが紹介されました。他、米価格が下落する中、若手農業者を中心に、JAの重点推進品目である5品目（トマト、加賀白葱、人参、南瓜、葉牡丹）を設定し、作付け提案を実施。栽培面や販売面で不安があることからTACが部会をもち栽培講習会の開催、JAの直売所への出荷提案、またJAが新規作付け支援として500千円/1組織の助成、機械化可能な人参、加賀白葱に対して、播種・収穫作業の作業委託、受託に助成等について説明がありました。

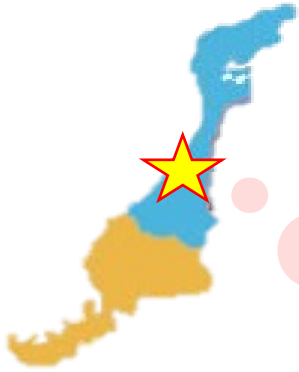


何よりも、報告した南出部長が「人生は、一冊の問題集、逃げるのも人生、立ち向かうのも人生」と語られ、情熱をもって仕事に取り組む重要性について熱く語っておられたのが印象的でした。その他、基調講演や受賞TACの取り組み事例報告などが行われ、改めてTAC活動の重要性、責務の重大さを再認識するとともに、「全国にはたくさんの仲間がいる。自分も頑張ろう。」という意を強くした大会でした。

福井石川肉牛枝肉共励会 開催！



前田真一氏(JA 花咲ふくい管内)の
三ツ星若狹牛がグランドチャンピオン！

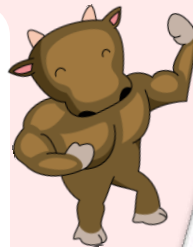


12月7日、石川県金沢食肉流通センターにて福井県・石川県肉牛枝肉共励会と、合同肉牛枝肉販売会が行われました。出品頭数は福井38頭、石川36頭の計74頭。重量、歩留まり、さし、肉色、きめ、締まり等細かく格付けされ、福井県出品の全38頭が若狹牛と認定されました。そのうち三ツ星若狹牛は半分の19頭が認定されています。その中から最優秀賞、優秀賞、優良賞が県ごとに決められました。また、福井と石川の最優秀賞同士が競う「グランドチャンピオン」は、JA 花咲ふくい管内の生産者前田真一氏の去勢格付けA5脂肪交雑ナンバー12の三ツ星若狹牛が受賞。前田氏の牛肉は、肉質も良く脂の入り方も絶妙で、満場一致での選出だったそうです。



午後に行われた販売会は、スクリーンに写した枝肉の断面写真と電光掲示板を用いて、セリが行われました。購買者は、あらかじめ大型冷蔵庫内で下見して決めている枝肉を落札するべく、真剣な眼差しで掲示板に示される落札価格を見ていました。今回1番高値がついたのは、石川県最優秀賞を受賞したJA 珠洲市 福田知子氏の能登牛で、1kgあたり4,128円。グランドチャンピオンを受賞した前田氏の三ツ星若狹牛も、3,360円/kgと高値で落札されていました。

セリ会場は購買者だけでなく、生産者、県やJAの関係者でいっぱい、会場後方や入り口付近では立ち見の人が出るほど。セリの落札価格を見ながら「頑張れ」、「勝負はこれから」という声が聞こえたり、電卓をたたきながら参加している方が見られたりと、活気ある販売会となりました。



TAC担当者研修会



11月20日（金）経済連総合センターにおいて、27年度第3回TAC担当者研修会が開催されました。県下JAのTACをはじめ、30名の参加がありました。

最初に、農業試験場高度経営支援課山口主任より「平成27年度稲作の総括について」説明がありました。今年度のカメムシによる被害が多かった原因として、幼穂形成期から出穂4日前までの気温が低く籾が小さかったことに対し、問題なく登熟が進み、小さい籾から玄米がはみ出た「開穎籾」が発生したこと。加えて、カメムシの多発生が重なったことが、カメムシ被害が増えた原因の一つであることが示されました。



次に、中央会農業支援室川崎氏、農業会議真柄氏より「農業関連の労災について」、県食料産業振興課杉本参事より「小規模農業者チャレンジ応援事業について」説明がありました。

その後、担い手対策課牧野専門員課長より、「どうなる福井県の水田土壌について」と題し、本県水田土壌の土づくり実施率が低迷する中、従来のケイ酸不足の他、リン酸や加里についても徐々に低下していることに触れ、地力の低下を防ぐ観点からも土づくりが重要であること等の説明がありました。質疑応答など、出席者参加型のスタイルで活気ある研修会となりました。



最後に、㈱キセキ北陸営業技術部向山部長、㈱クボタアグリソリューション推進部廣兼氏より「最新及び近未来の農業機械紹介について」、機械情報や作業記録を記録できるシステムや、作付け・作業の計画や年度ごとの栽培結果を振り返ることができるソフト等、動画を交えた紹介があり、参加者一同機械の最新機能について聞き入っていました。



土壌医検定受験者研修会



1月18日、経済連総合センターにて、土壌医検定3級受験対策研修会が開かれました。JA、経済連担い手対策課らが出席し、およそ4時間の密な講義を受講しました。

講師は担い手対策課牧野専門員課長が務め、午前はテキストを中心に、午後はテキストに加え問題集の問題を解きながら、質疑応答形式で講習が行われました。土壌の化学性や物理性、生物性を中心に、県内の水稻栽培や肥料について講義が行われ、時には途中で出てきた疑問点を皆で考えたりしながら、少数ながらも内容の濃い講習会となりました。

土壌医検定とは…？

土壌医検定とは、土壌のことのみにだけでなく、作物生育との関係を重視した土づくりを指導できる人材の育成を目指し、毎年1回2月頃に実施している試験です（主催：一般財団法人 日本土壌協会）。受験級は1～3級まであり、受験申込者数は年々増加しています。

受験制限はなく、受験者の職業層はJA職員や農業者に加え、会社員や公務員、大学生、農業高校生と様々です。また合格者には合格級に応じ、土壌医、土づくりマスター等の称号が付与されています。

注意）今年の受験申込は終了しています。



興味のある方は

「土壌医検定」で検索！



JA おすすめ 除雪機

数量限定

除雪も
楽ちん♪

ご成約の方に
ガソリン携行缶
(10L)を
プレゼント☺

価格で選ぶ
ならコレ!



HST

KIORITZ

KT-661EDJ

メーカー希望小売価格365,040円(税込)

キャンペーン価格

328,500円(税込)

最大出力: 4.8馬力 / 除雪幅: 620mm
最大除雪能力: 35t/h / 除雪高: 440mm

シンプル
&コンパクト



無段フリクション

KUBOTA

KSR-708MX1

メーカー希望小売価格406,080円(税込)

キャンペーン価格

365,500円(税込)

最大出力: 8.4馬力 / 除雪幅: 680mm
最大除雪能力: 50t/h / 除雪高: 450mm

レバーひとつで
なめらか旋回



HST

KUBOTA

KSR-810SK1

メーカー希望小売価格619,920円(税込)

キャンペーン価格

558,000円(税込)

最大出力: 10馬力 / 除雪幅: 800mm
最大除雪能力: 60t/h / 除雪高: 510mm

電動で投雪方向
自由自在!



HST

ISEKI

SK810M1

メーカー希望小売価格619,920円(税込)

キャンペーン価格

558,000円(税込)

最大出力: 10馬力 / 除雪幅: 800mm
最大除雪能力: 60t/h / 除雪高: 510mm

お庭や玄関先の
除雪にピッタリ!



Disk CVT

YANMAR

JS-865C,E

メーカー希望小売価格399,600円(税込)

キャンペーン価格

360,000円(税込)

最大出力: 8.5馬力 / 除雪幅: 650mm
最大除雪能力: 45t/h / 除雪高: 525mm

大きく見やすい
操作パネル



Disk CVT

YANMAR

JS-1071C,E

メーカー希望小売価格453,600円(税込)

キャンペーン価格

408,500円(税込)

最大出力: 10馬力 / 除雪幅: 710mm
最大除雪能力: 55t/h / 除雪高: 525mm

JAおすすめ除雪機は、アフターサービスも充実だから安心・安全です

※仕様・価格は予告なく変更する場合があります。※価格はすべて消費税込価格です。

※お客様の御事由による交換・返品はご遠慮願います。※品切れの際はご容赦ください。

インフルエンザ予防のために！

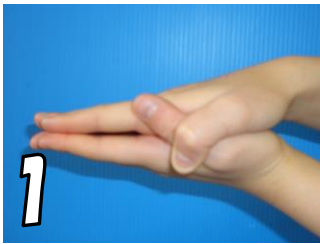


インフルエンザの流行シーズンがやってきました。
流行を防ぐためには、原因となるウイルスを体内に侵入させないことや
周囲にうつさないようにすることが重要です。感染を広げないために、
一人一人が「**かからない**」「**うつさない**」対策を実践しましょう。



1.「正しい手洗い」

指輪や時計をはずし、流水で手をぬらし液体せっけんをつけてしっかり泡立てましょう。



手のひらを合わせて
力強く**5秒間**洗う



手の甲を伸ばすように
右も左も**5秒間**こすり洗う



指先、つめの間も渦を
描くように**5秒間**洗う



指の間も十分によくこす
り合わせて**5秒間**洗う



親指を手のひらで
5秒間ねじり洗う



手首も忘れずに**5秒間**
洗う

2.「咳エチケット」



咳やくしゃみが出るときは、飛沫にウイルスを含んでいるかもしれないので、次のような咳エチケットを心掛けましょう。

- ① 咳・くしゃみをする時はティッシュなどで口と鼻をおおい、他の人から顔をそむけ、1m以上離れる。
- ② 呼吸器系分泌物(鼻汁・痰など)を含んだティッシュは、すぐにごみ箱に捨てる。
(出来れば蓋付きのもの)
- ③ 咳をしている人はマスクをつける。
- ④ 咳・くしゃみを防いだ手はすぐに洗う。